

輪の国びわ湖推進協議会
令和3年度(2021)総会 次第

■日 時：2021年5月25日(火)

■場 所：Zoom

1) 開会 司会

2) あいさつ

3) 議事

第1号議案 令和2年度(2020)事業報告(案)

第2号議案 令和2年度(2020)事業決算(案)

第3号議案 令和3年度(2021)事業計画(案)

第4号議案 令和3年度(2021)事業予算(案)

4) 閉会

第1号議案 輪の国びわ湖推進協議会令和2年度(2020)事業報告(案) (令和2年(2020)4月1日～令和3年(2021)3月31日)

輪の国びわ湖推進協議会(以下、協議会)では、令和2年度(2020)、「各主体との連携を深め、自転車を日常利用することの価値を高める」(自転車ありきではない弱者優先のまちづくり、自転車ネットワーク計画)を基本方針として、以下の事業を企画・実施した。

[1] 普及啓発：自転車ファンを増やし正しい乗り方を広める

1 広報事業

(1) オンライン

1) 「輪の国びわ湖」Webページの運営

滋賀県下の自転車情報を継続的に発信できる形へのウェブサイトのリニューアル
本年度は実施できず

ー自転車によるびわ湖一周を推進するため、Webページ「びわ湖一周サイクリング 輪の国びわ湖」の運営及びメールマガジン「びわ湖一周メールマガジン」の発行を行った。またホームページにおける広告収入を得た。

Webページ「びわ湖一周サイクリング 輪の国びわ湖」

HPのページビュー 約38,500/月 (前年比-17% 目標値 約70,000/月)

<内容>

- ・びわ湖一周に関する情報
- ・びわ湖一周コースの紹介(マップ)
- ・びわ湖一周認定証
- ・イベント情報
- など

ーナショナルサイクルルートの公式サイトとして、英語版を滋賀プラス・サイクル推進協議会からの補助を得て制作した。

2) メールマガジン「びわ湖一周メールマガジン」の発行

毎月15日発行。および臨時2回 計14回

配信数5,900名(前年比102% 目標値8,000件)

<内容>

- ・関連イベントの紹介
- ・自転車関連コラム
- ・道路情報
- など

(2) オフライン

1) ビワイチガイドブックの企画・制作

ー令和4年(2022)春の発行予定で、ビワイチガイドブックの制作についての準備をスタートした。

広く協力者を募り、ガイドブックMTを立ち上げた。

第一回 3月2日(火)19:00～ チカ守山およびZOOM

第二回 3月24日(火)19:00～ チカ守山およびZOOM

ーコンセプトおよび仕様など方向性について意見交換をおこなった

2) 広報用のパンフレットの更新、増刷

新型コロナ感染拡大の影響によりパンフレット配布数が減少したため、本年度は実施せず。

3) 事業紹介パンフレットの制作・印刷

本年度は実施できず

4) 認定証取得者向けの冊子「びわこじてんしゃ」の編集・発行

—自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、認定証認定者向けの冊子「びわこじてんしゃ」を編集・発行（年2回（2020年秋期、2021年春期）、約3000部を配布した。

配布対象は、認定証発行者への認定証へ同封、協賛ショップ（泊まる）14箇所の客室に各号700部を見本誌として設置した。

—令和2年（2020）秋号 VOL.16

- ◇愛車じまん
- ◇ピワイチ・コミュニティ
自粛期間、どう走ってた？
- ◇もっと自転車のある暮らし
自転車通勤の始め方
- ◇びわ湖の快適・安全な走り方
コロナ時代も楽しむための走り方
- ◇輪の国なう
オンラインで！輪学2020 始まりました
- ◇女子的ちゃり生活
With コロナのサイクリングは？



—令和3年（2021）春号

- ◇愛車じまん
- ◇ピワイチ・コミュニティ
ナショナルサイクルルート
「ピワイチ」指定1周年記念イベント
- ◇輪の国スタッフお薦めお立ち寄り情報
近江八景のスポットをめぐる
南湖一周サイクリングツアー
- ◇びわ湖の快適・安全な走り方
サイクリストを導くびわ湖の「青い輪」
- ◇輪の国なう
輪の国びわ湖は次の10年を見つめて走ります
- ◇女子的ちゃり生活
サイクリング中もおしゃれを忘れたくない！



5) 自転車利用の安全普及のためのポスターを作成、滋賀プラス・サイクル推進協議会と協働して関係箇所への配布を行う
本年度は実施せず。

6) メディア・行政等への情報発信および講演・取材・視察対応

- 愛知県立芸術大学中井友紀乃氏への対応 6月18日
- 福井県嶺南振興局からの視察対応 7月15日
- 草津東高校放送部への対応 9月19日
- 科野さらしなの里サイクリング推進委員会への対応 10月20日
- 大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会設立総会にて講演 11月11日
- 第三回自転車利用環境向上会議オンライン「観光・ツーリズム×自転車」にパネリストとして参加 11月22日
- NPO法人INE OASAへの対応 2月9日
- 風景街道「熊野」との交流会への対応 3月23日

2 びわ湖一周推進事業

(1) びわ湖一周サイクリング認定証の発行

一 自転車によるびわ湖一周を推進するため、「びわ湖一周サイクリング認定証」の発行及び「びわ湖一周サイクリング認定ステッカー」の交付事業を行った。

びわ湖一周サイクリング認定証 発行件数 1267 件（前年度比 607 件減 本年度目標 1000 件）

一 認定システムを更新し、エリア（湖北、湖西、湖東、湖南）毎に1箇所以上のチェックにも対応できるように改良した。

(2) 協賛ショップの運営

協議会の活動主旨に賛同する店舗を協賛ショップと認定し、Web サイト、パンフレットへの掲載をおこなう。

[2] 社会提案：自転車を活かす暮らし方・まちづくりを提案する

1 サイクルツーリズムシンポジウム

一 2019年度、ピワイチをはじめ、全国3ルートがナショナルサイクルルートに登録されるのとなわせ、ルートの整備、サポートステーションなどサイクリストへサービスの充実など、サイクルツーリズムの振興に関するプラス面が大きくクローズアップされてきました。

しかし本年度は、感染症の世界的流行で、ツーリズム全体が厳しい状況におかれています。そこで、今回のシンポジウムでは、ウィズコロナの中、どのようにサイクルツーリズムを考えていくのか、アフターコロナに向けて「今、取り組むべきことは何なのか」について、まさに渦中で奮闘されている方々からお話を伺いました。

また、新しい生活様式が提唱される中、さまざまな立場の「現場」からの声を拾い、見えてきた現状と課題について整理します。今後のツーリズムの再発展へとつなげていくために、「地域と地域」「人と人」が連携することによって、持続可能なサイクルツーリズムをどう構築していくのか、その方法などについて共に考える場とします。

日時：令和3年（2021）3月20日（土）13：00～16：30

場所：オンラインで開催

概要：・パネルトーク「持続可能なサイクルツーリズムを目指して」1～今やるべきことを考える

高橋 幸博さん 株式会社アーチ・ヒーロー北海道代表取締役

井上 寿さん 株式会社ライダス代表取締役

進行 佐々木和之 輪の国びわ湖推進協議会事務局長



・サイクルツーリズムの現状と課題（現場からのメッセージ）

滋賀県下で活動する団体の紹介と現状、将来へのメッセージを紹介

- 計15団体
- 1 近江トラベル株式会社 / 2 NPO 法人 五環生活
 - 3 サイクルショップライフ/サイクルレスキュー / 4 (一社) 滋賀県自転車競技連盟
 - 5 ジャイアントストアびわ湖守山店 / 6 SLYCE BASE CAMP
 - 7 ピワイチ応援サロン / 8 びわ湖のカナタ / 9 Biwako Backroads
 - 10 “びーもサイクル協議会(びわ湖守山・自転車新文化推進議会)”
 - 11 びわポタ・サイクリング / 12 Blue BIKE & Soap / 13 macchi cycles
 - 14 ライダーハウス日本何周 / 15 和ウトドア



・クロストーク「持続可能なサイクルツーリズムを目指して」2～繋がり・将来像

- 高橋 幸博さん 株式会社アーチ・ヒーロー北海道代表取締役
井上 寿さん 株式会社ライダス代表取締役
進行 佐々木和之 輪の国びわ湖推進協議会事務局長



申込 47名 当日 ZOOM 確認 32名
アンケート回答者 10名

1. 広報 最も多いのが、輪の国以外からの情報（知人から聞いた）

2. 聴講のきっかけは？

内容に興味をもった	6	自転車観光に関わっている	6
地域活性にかかわっている	4	講師に興味をもった	2
時間があつた	1		

3. パネルトークはいかがでしたか

非常に良かった	6	良かった	2	普通	1	良くなかつた	1
まったく良くなかつた	0						

4. 現場からの報告はいかがでしたか

非常に良かった	5	良かった	3	普通	1	良くなかつた	0
まったく良くなかつた	1						

5. クロストークはいかがでしたか

非常に良かった	6	良かった	2	普通	1	良くなかつた	1
まったく良くなかつた	0						

6. 印象に残つたことは何ですか？

事業として成り立たせる為のターゲティング

厳しい現状の中、次のステップに向けて準備されているところ

現場からの報告

ガイドの力量の話について

『連携』や『繋がる』という意味について、考えさせられました。やる気のある人たちだけで繋がれば良い、なにも無理矢理全体で繋がる必要はない、デッドコピーする人とは繋がりにたくない、というのはもっともだと思います。

高橋さんが言われていた「滋賀県に地域のコーディネーターが必要」ということ。今回「つながり」がテーマでありましたが、滋賀県で活動されている方々は、つながっているようでつなぎきれていない現状がありますので。

エコを意識してツアー設定を行うこと

人の繋がりの大切さ。小さなこと小さな地域から始めることは持続可能性が高いこと

みんなでディスティネーションをつくる。

琵琶湖のサイクルツーリズムに、こんなに多くの方々熱心に取り組まれているのか、と驚きました。

7. 今後どのようなテーマがあれば参加してみたいとおもいますか？

サイクルツーリズム造成の官民連携について

地域とつくるサイクルツーリズム

観光×サイクリングガイドの人の連携

滋賀県や琵琶湖におけるサイクルツーリズムの新たな取り組みや他地域の取り組みなどをご紹介されることがあれば参加したいです。

滋賀県のサイクルツーリズムを「地域づくり」という観点から考える。

採算面でどのくらい可能性があるのか、地域にどのくらい経済効果があるのかのテーマ希望します

ピワイチサイクリングにおける、オススメスポットや名所の紹介、サイクリストビキナーでも楽しめるルートなどを知れる様な内容のものがあれば、参加してみたいです。

8. 本日のご感想、その他のご意見・ご感想があればお聞かせください。

さまざまな視点から非常に興味深い話が聞けて大変充実しました。

話を聞いて、ガイドの素質について考えさせられました。

大変有意義なお話をいただき、ありがとうございました。

あらためて、従来の延長線上（フォアキャスト）でツーリズムを考えるのではなく、まずは、行政と輪の国びわ湖、プラスサイクルなどが一丸となって、滋賀地域のビジョンからバックキャストでディスカッションしていきたいと思つています。

本日は貴重な機会ありがとうございました。私は東武トップツアーズという旅行会社で地域連携事業を担当している田中と申します。札幌支店でフィールドは北海道です。今は北見市の関係者とともに地域でのサイクリング文化造成をしていて、先進地の貴地を参考にさせていただきます。

参考となり、勉強となった。

貴重なお話が聞けたと感じました。ありがとうございました。

現場の方々の声を直接伺えるのは大変貴重だとは思いましたが、思っていたより数が多く長かったので、もう少しコンパクトにご紹介頂けると、より聞きやすかった様に感じます。

※当日の様子は協議会ウェブページで配信予定。

2 エコ交通の推進

滋賀県交通戦略課と協力し、一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク内にてエコ交通研究会を運営し、セミナー等を通じてエコ交通の普及を図る。

滋賀グリーン活動ネットワーク（SGN）エコ交通研究会（旧称：滋賀グリーン購入ネットワーク・エコ通勤研究会）

通勤や事業活動における自動車の利用を公共交通および自転車、カーシェアリング等の環境配慮型の交通利用にシフトすることで、交通部門のCO2排出量を削減する。これにより個人の自動車利用が当たり前という現代のパラダイムを転換し、通勤以外の移動の場面においても公共交通および自転車等の交通分担率を上げ、滋賀社会の脱炭素化に貢献する。

1) 第4回エコ交通セミナーの開催

シリーズ・グリーンリカバリー・オンラインセミナーvol.5

ポスト・コロナ時代に向けて 持続可能な交通とまちづくりを考える

～事業者、行政、市民が今やるべきこと～

2050年カーボンニュートラルの社会を達成し、かつ市民の利便性を損なわずに暮らしや経済を豊かにするためには、どのようなまちづくりを進めていけば良いのか。コロナ禍による経済停滞や貧困増加が懸念されていますが、逆にこの機を奇貨と捉え、企業も行政もちろん市民も協力し合い、グリーンリカバリーを進めることが求められています。

そこで、ドイツ在住の環境ジャーナリスト村上敦氏を講師に招き、エネルギーや交通のあり方から強い地域経済をつくることに成功しているドイツのまちづくりを学び、これからの事業者、行政、市民に求められることについて、滋賀県知事と共に考えました。

日時：令和3年（2021）3月16日（火）15：00～17：00

場所：滋賀県農業教育情報センター および オンライン併催

概要：基調講演『欧州の交通におけるトレンドと持続可能な地域づくり』

村上 敦氏（環境まちづくりジャーナリスト）

提言『滋賀らしい「エコ交通」の推進に向けて』

三日月 大造氏（滋賀県知事）

未来づくりディスカッション

コーディネータ：高橋卓也氏（滋賀県立大学 環境科学部 教授）

参加者：会場22人、オンライン70人以上

2) グリーン購入キャンペーンのエコ通勤・エコトリップとの連携

－エコ通勤・エコトリップのリーフレット作成（令和2年（2020）10月）

－電話ヒアリング調査（令和3年（2021）2月）

3) コロナ禍での移動に関するアンケート実施

（令和2年（2020）6月.29日～7月3日実施、20件の回答）

- 4) 研究会親睦事業 近江鉄道サイクルトレインお出かけ企画（令和2年（2020）10月18日）
5人参加 彦根駅～めぐりんこ～ひこね芹川駅～愛知川駅～あいとうエコプラザ菜の花館 往復
- 5) 情報発信
－研究会のWebページの開設（3記事を掲載） <https://www.shigagpn.gr.jp/ecotsu/>
－月刊メールマガジンにコラム連載（2月から）

3 出版

[3] 調査研究：自転車の使いやすい環境やツール等について研究する

- 1 もう一つのびわ湖の楽しみ方提案
本年度は実施せず。

2 輪学の開催

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまな角度から勉強していくことを目的に、公開での勉強会や講演会を実施する。

本年度は、オンライン（ZOOMを活用）を基本に、滋賀県下で活動する方々との連携、輪の国が目指すビジョン実現のための参考事例などをテーマに実施した。

第1回「一周して見えてきた、台湾のサイクルツーリズム戦略」

日 程：6月26日（金）19：00～21：00

会 場：オンライン

演 者：藤本芳一 輪の国びわ湖推進協議会会長

概 要：

台湾一周は「環島（ホァンダオ）」と言われ、台湾人になる儀式の一つとして広く浸透しており、そのためのツアーがいくつも用意され、誰でも気軽にトライできるようなサポート体制が出来て います。

ちなみにドイツでもっとも人気の高いサイクリングルートは川沿いのルートで、1300km、510km、9000kmと長距離が人気。台湾一周は約1000キロ。日本のサイクリングルートは比較するとまだスケールが小さい。など、台湾の状況とあわせて日本の課題についてもふれました。

当日の内容は動画で公開しています

<https://www.biwako1.jp/movie/20200628211619.html>

第2回「サイクルツーリズムの聖地を支える愛媛

・しまなみの自転車まちづくりー2019 視察報告」

日 程：7月31日（金）19：00～21：00

会 場：オンライン

演 者：南村多津恵 輪の国びわ湖推進協議会・運営委員

概 要：

「サイクルツーリズムの進め方 自転車でつくる豊かな地域」本の制作にあたり、サイクルツーリズムブームのさきがけとなったしまなみ海道と、愛媛県の市民、行政、事業者を取材した内容について、ツーリズム振興にあたっての民間と行政の役割分担、地元の方々との連携、そして自転車を日常の文化に根付かせるための取り組みなど本では掲載しきれなかった部分も含め紹介しました。

当日の内容は動画で公開しています

<https://www.biwako1.jp/movie/20200801131249.html>

第3回「旧街道の自転車旅はサイクルツーリズムの切り札となりえるのか」+

日 程：8月28日（金）19：00～21：00

会 場：オンライン

演 者：井上 寿さん 株式会社ライダス代表取締役

概要：

自転車旅の魅力について、お話をいただきました。井上さんは、街道めぐりと自転車ツアーの親和性を感じ、「旧街道サイクリングの旅」を「サイクルスポーツ」を発行する八重洲出版の大阪支社元支社長の迫田賢一さんとの旅を cyclesports.jp に連載。今春「旧街道じてんしゃ旅 旧東海道編」を出版されました。

ご自身の体験から、サイクルツーリズムにおいてはガイドはプロフェッショナルでなければならない。旅は不安や不便など万全でないところに魅力があるのだから、ガイドは安全を確保し、旅の途中のアクシデントを楽しみつつ、お客様とともに旅をするのがよいなど、中山道ほか各地を実際に案内された写真を使いながら、ご自身の体験から説明してくださいました。

第4回 訪れてうれしい、暮らして楽しい これからの「まちと交通」について考える

日程：9月25日（金）19:00～21:00

会場：オンライン

演者：正司健一さん（神戸大学名誉教授，特定非営利活動法人

持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長）

概要：

これからのまちと交通のあり方と、どのようにそれを実現していけばよいのかについて、お話をいただきました。

正司さんは、日本の道路行政が自動車最優先の考え方で進められていることに疑問を感じられ、暮らしやすい豊かなまちづくりを進める人材を育成する「持続可能なまちと交通をめざす再生塾」を立ち上げた経緯やそこでの活動を紹介。にぎわいのあるまちの育て方とそこでの交通のあり方について、海外、国内の事例をまじえながらわかりやすく解説していただきました。

講演の後には、参加者との意見交換と懇親会を行いました。再生塾で学ばれている方や実際に交通まちづくりに取り組んでいる方など、掘り下げた質問にも丁寧に答えていただきました。

当日の内容は動画で公開しています

<https://www.biwako1.jp/movie/20201001144054.html>

第5回 『自転車競技連盟』の新しいカタチを考える --競技一辺倒からの脱却--

日程：10月30日（金）19:00～21:00

会場：草津市立市民交流プラザ「大会議室」 & オンライン

演者：森 貴尉さん 一般社団法人滋賀県自転車競技連盟会長

概要：

森さんは、自転車競技に親しむ子供たちへの活動をはじめ、自転車人口の裾野をひろげるため、子どもたちの自転車デビューを助ける「補助輪そろそろ外しませんかプログラム」や、楽しみながら自転車に親しむサイクルツアーの企画などへの取り組みについて説明。

「まだスタートしたばかり、年度末にどれだけのことが出来たかまた、報告したい」と語られました。

当日の内容は動画で公開しています

<https://www.biwako1.jp/movie/20201105130650.html>

第6回「新時代、サイクルツーリズムのあり方を考えよう！

～well-being tourism の可能性を探る～

日程：11月27日（金）19:00～21:00

会場：オンライン

演者：福富雅之さん 和ウトドア主宰・my turn 理事 トミープランニング代表

概要：

新しいサイクルツーリズムのあり方についてお話を伺いました。アパレル業界からまちづくりに携わるようになられたのは「こころの豊かさ」をもっと大事にしたいから。持続可能な観光から一歩進んで「リジェネラティブツーリズム（再生型）」、ツーリズムを通じて訪れる地域をどう再生していけるかを進めていきたい。

一人ではできない、これからのサイクルツーリズムに大切なのは「創造的協働」、一緒にやっていきましょうと熱く語られました。

当日の内容は動画で公開しています

<https://www.biwako1.jp/movie/20201129134952.html>

第7回「僕は自転車ツアーガイドで生きていくと決めた！」

～自転車ツアービジネスを志す自転車愛好家の夢～

日 程：12月19日（土）19:00～21:00

会 場：オンライン

演 者：一丸剛さん びわ湖・守山自転車新文化推進協議会理事・地球の歩き方 WEB 滋賀特派員

概 要：

旧街道や史跡めぐりのサイクリングが好きだった一丸さんが、2016年、輪の国が開催したシンポジウム「サイクルツーリズムによる地域活性化を目指して」に参加、風景通訳家の仲間浩一先生に出会い、「ガイドは景観のインタープリターである」の言葉に感銘を受けたのが夢を抱いたきっかけ。サイクルツアーガイドへの想いが募る一方、実際にガイドを職業とするには色々克服していかなければならない事を実感しつつ、ツアーガイドで生きていくことを決めた強い想いと、滋賀の魅力を発信していくために、協力していく場をみんなで作ろうと熱く語られました。

当日の内容は動画で公開しています

<https://www.biwako1.jp/movie/20201129134952.html>

第8回「新春交歓会！ 自転車の夢を語り合おう」

日 程：1月29日（金）

会 場：オンライン

概 要：

輪の国では、「台湾一周」「愛媛・しまなみ海道」「旧街道の旅」「交通まちづくり」「自転車競技連盟」「well-being tourism」「自転車ツアーガイド」…など、今年度も様々なゲストを招いて輪学を開催しました。

1年をふりかえり、集まった方々でわいわい、がやがや、今年の抱負や夢を披露しました。サイクルツーリズムでは、「地域を安売りせずそこに隠された価値を高く提案していこう、価値のわかる人だけ来てくれたらいい」。まちづくりでは、「欧州で見られるような自転車と公共交通主体のにぎわいと自然にあふれたまちをつくりたい、そのための火付け役に私たち市民がなろう」という話で盛り上がりました。

第9回 人と環境にやさしくにぎわいのある街、ヨーロッパ自転車政策先進都市から学ぶ

日 程：3月25日（金）19:00～21:00

会 場：オンライン

演 者：藤本芳一 輪の国びわ湖推進協議会会長

概 要：

「人と環境にやさしくにぎわいのある街、ヨーロッパ自転車政策先進都市から学ぶ」をテーマに、実際に訪問された時の写真を交えて、自転車政策先進都市の様子について報告されました。まずは先進都市・オランダのアムステルダム。市内交通の37%が自転車で、歩行者と自転車と公共交通と車が平等に道を分け合っています。道路状況も日本とはまったくことなり、右から歩道、駐輪場、自転車道、トラムの軌道、一方通行1車線のみの車道、反対側の自転車道、駐輪場、歩道となっています。

そのほか、デンマークのコペンハーゲン、ドイツのミュンスターなどの事例も紹介。オランダに比べてドイツは道路整備は遅れているが、ツーリズムなどの振興で自転車利用を進めています。先進都市と比べると日本の現状はまだですが、理想を知ることによって具体的なイメージがわき、今後の推進の力となる輪学でした。

3 受託事業の実施

滋賀プラス・サイクル推進協議会の事務局を担当する。

その他、一般社団法人輪の国びわ湖との連携など、必要な事業を行う。

1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会のWebサイトの運営をおこなった。

2) その他、輪の国びわ湖推進協議会の理念を実現するために必要な事業を円滑に行うために設立された（一社）輪の国びわ湖の事業への協力をおこなった。

- ①サイクリストに対するサポート水準向上に向けた説明・情報交換会およびガイドマニュアルの作成業務
- ②ビワイチマップ日本語版、英語版、中国語版（繁体字）の更新、中国語版（簡体字）の作成
- ③走行台数調査
- ④滋賀県自転車通勤体験事業
- ⑤守山市自転車活用推進計画の策定
- ⑥大津市「新たな観光モデル実践にむけたモニターツアー事業」

[4] ネットワーク活動：交通に関連する団体や個人と関係を深める

- 1 滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会との連携
エコ交通に関する先進事例調査と普及啓発を行った。

- 2 自転車新文化を作るネットワーク活動
輪学 2017 のネットワークを中心に、自転車新文化を創るネットワーク活動を輪学を通じて展開した。

- 3 会議の実施
協議会事業の推進のため、「輪の国びわ湖」ミーティングを実施した。
 - 1) ビジョン・ミッションの見直し
協議会発足から 11 年目を迎え、自転車を取り巻く環境が大きく変化していく中で、もう一度原点にかえり、目指すべきビジョンとミッションの見直しをおこなった。

そのため、6月3日、6月17日、7月1日、7月16日、8月5日、8月12日にオンラインでミーティングを開催した。

ービジョン・ミッション見直しのためのチームを発足。オンライン（ZOOM）を使ってミーティングを行い、よりわかりやすく活動の内容を多くの方々に知っていただくためのコンセプトワードとビジョンイメージ図を作成した。
 - ビジョン
自転車をつくる 地域と未来を豊かにする社会
 - ミッション
 1. サイクルツーリズムによる地域づくりの推進
 2. 自転車を日常的に楽しむ文化と環境の創造
 - コンセプトワード
自転車をつなぐ ひと・まち・じかん



自転車をつなぐ ひと、まち、じかん

2) 会議の実施

協議会事業の推進のため、「輪の国びわ湖」ミーティングを実施した。

実施日時、実施場所（*印は運営委員会）

実施日	名称	場所
4月21日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
5月19日	「輪の国びわ湖」総会	オンライン（ZOOM）
6月16日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
7月21日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
8月18日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
9月15日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
10月20日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
11月17日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
12月15日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
1月19日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
2月16日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）
3月16日	「輪の国びわ湖」ミーティング*	オンライン（ZOOM）

上記とあわせ、事業進捗を確認する進捗 MT を週1回を原則としてオンラインを活用して実施した。

会長

藤本芳一（自転車ライフプロジェクト）

副会長

稲永明子

（日本風景街道「琵琶湖さざなみ街道・中山道」パートナーシップ／歴史街道推進協議会）

南井良彦（MCREATIVES）

事務局長

佐々木和之（水色舎／一般社団法人輪の国びわ湖）

運営委員

伊藤真紀／恩地 衛（滋賀県庁）

川崎一良（マイクリング・プロジェクト）／小西良章（守山市自転車競技連盟）

田中将人（びわ湖のカナタ）／新野恭平（ニューフィールドワークス）

福富雅之（和ウトドア）／南村多津恵（くうのるくらすの創造舎）

山本一男（株式会社ミズホネット）／横田勝也（マイクリング・プロジェクト）

第2号議案 輪の国びわ湖推進協議会 令和2年度(2020)事業決算(案)

令和2(2020)年4月1日 から 令和3(2021)年3月31日 まで

収入の部

項目		R2決算額	R2予算額
繰り越し		¥1,402,535	¥1,402,535
事業収入			
びわ湖一周サイクリング認定証	1000	¥1,262,572	¥1,000,000
Webページ広告収入		¥23,715	¥30,000
ガイドブック印税収入		¥0	¥0
書籍販売収入(買上)	ガイドブック含む	¥114,710	¥5,000
書籍印税収入		¥104,489	¥0
出展費(協賛金収入)		¥0	¥0
輪学金費		¥0	¥50,000
受託事業費		¥1,200,000	¥0
物販		¥0	¥0
寄付金	補助金含む	¥1,773,185	¥50,000
講演・取材対応		¥34,000	¥50,000
ロイヤリティ		¥849,907	¥250,000
雑収入			
利子		¥48	¥100
雑収入		¥0	¥1,000
合計		¥6,765,161	¥2,838,635

支出の部

項目		R2決算額	R2予算額
事業費			
びわ湖一周サイクリング認定証事務費		¥667,330	¥550,000
びわ湖一周サイクリング認定証材料費		¥238,317	¥100,000
びわ湖一周システム改修費		¥100,000	¥100,000
広報費(パンフレット等)	メルマガを含む	¥27,600	¥80,000
広報費(Webサイト)	英語化含む	¥613,864	¥100,000
物販		¥0	¥0
寄付金付き自販機事業		¥0	¥5,000
輪学運営費		¥0	¥200,000
エコ交通の推進		¥187,680	¥200,000
出展費		¥0	¥10,000
安全啓発ポスター		¥0	¥100,000
ガイドブック・Webサイトに向けたコンテンツ作成		¥0	¥200,000
もう一つのびわ湖の楽しみかた提案		¥0	-
自転車新文化を創るネットワーク活動		¥0	-
10周年記念事業		¥0	¥0
受託事業費		¥856,340	¥0
講演取材対応		¥0	¥47,500
事務費			
会議運営・総会運営		¥120,000	¥120,000
会議会場費用		¥6,000	¥50,000
事務局FAX費		¥15,108	¥12,936
税理士		¥165,000	¥165,000
運営費			
ホームページサーバー費		¥5,238	¥5,000
ホームページドメイン費		¥3,124	¥2,990
ホームページメンテナンス費		¥50,000	¥50,000
諸会費			
びわこビクターズビューロー会費		¥10,000	¥10,000
滋賀グリーン活動ネットワーク会費		¥5,000	¥4,000
基金			
ガイドブック作成費		¥0	¥0
法人税			
法人税		¥626,000	¥120,000
雑費			
振込手数料		¥20,955	¥25,000
その他雑費		¥3,773	¥581,209
合計		¥3,721,329	¥2,838,635

差し引き ¥3,043,832 ¥1,402,535

輪の国びわ湖推進協議会令和2年度貸借対照表
令和3(2021)年3月31日現在

令和2年度 貸借対照表

資産の部		負債の部	
預金・現金	¥6,064,759	未払金	¥9,556,938
未収金	¥7,504,631	負債計	¥9,556,938
流動資産計	¥13,569,390		
		純資産の部	
固定資産計	¥0	繰越利益	¥4,012,452
		純資産計	¥4,012,452
資産合計	¥13,569,390	負債及び純資	¥13,569,390

令和2年度 ガイドブック基金

項目	収入	支出	残高
前年度繰り越し			¥389,000

第3号議案

輪の国びわ湖推進協議会令和3年度（2021）事業計画（案） （令和3年（2021）4月1日～令和4年（2022）3月31日）

輪の国びわ湖推進協議会（以下、協議会）では、令和3年度、以下の方針に基づき事業を推進する。

【輪の国びわ湖令和3年度（2021）事業について】

〔1〕普及啓発：自転車ファンを増やし正しい乗り方を広める

1 広報事業

(1) オンライン

1) 「輪の国びわ湖」Web ページの運営

滋賀県下の自転車情報を継続的に発信できる形へのウェブサイトのリニューアル
びわ湖一周サイクリングを契機として、県内外に対して自転車生活の素晴らしさと具体的な導
入方法を提案するため、WEB ページやメールマガジンなどで、びわ湖一周に関する情報
「スポーツバイクのレンタサイクル」「びわ湖一周の基礎知識」「サイクリングマップ」など
の基本情報や道路状況などを発信する。

(ア) 事業内容

Web ページやメールマガジンなどを使った広報活動を実施する。

Web ページ「びわ湖一周サイクリング 輪の国びわ湖」

<内容>

- びわ湖一周に関する情報
- びわ湖一周コースの紹介（マップ）
- びわ湖一周認定証
- イベント情報 など

メールマガジン「びわ湖一周メールマガジン」

<内容>

- 関連イベントの紹介
- 自転車関連コラム
- 道路情報
など

(イ) 実施日時

通年

メールマガジン：毎月15日発行。必要に応じて臨時号を発行する。

(ウ) 実施場所

びわ湖一周サイクリング応援メールマガジン

※配信数の目標値は定めない

輪の国びわ湖ホームページのページビュー

約40,000/月

(2) オフライン

1) ピワイチガイドブックの企画・制作

2) 広報用のパンフレットの更新・増刷を行う。

3) 事業紹介パンフレットの制作・印刷を行う。

4) 認定証取得者向けの冊子「びわこじてんしゃ」の編集・発行を行う。

(ア) 事業内容

自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、認定証取得者向けの冊子「びわ
こじてんしゃ」を編集・発行する

- (イ) 実施日時
びわこじてんしゃの発行：年2回（令和3年（2021）秋期、令和4年（2022）春期）
- (ウ) 実施場所
認定証取得者への認定証へ同封、協賛ショップ（泊まる）の客室に14箇所各号約700部見本誌設置
- (エ) 受益対象者の範囲及び予定人数
びわこじてんしゃ配布数 約3000部

4) 自転車利用の安全普及のためのポスターを作成、滋賀プラス・サイクル推進協議会と連携して関係箇所への配布を行う。

- (ア) 事業内容
滋賀プラス・サイクル推進協議会との共同で
自転車利用の安全普及のための新ポスターを県下に掲示
- (イ) 実施期間
年1回
- (ウ) 事業概要
自転車の安全確保に向けた取り組みの一つとして、マンガを用いた自転車利用の安全普及のためのポスター掲出を実施する。

5) メディア・行政等への情報発信および講演・取材・視察対応を行う。

(3) 展示PRの実施

びわ湖一周認定証の発行など輪の国びわ湖の活動の認知度向上、及び輪の国ビジョンの促進を目的に、各地、各団体が開催する展示会などに出展、PR活動を実施する。
また、あわせて自転車関連団体との交流を図る。

- (ア) 事業内容
自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、びわ湖一周サイクリング認定証の広報事業、及び輪の国ビジョンの促進に向けた周知を行う。
- (イ) 実施日時・場所
 - 1) 自転車イベント
サイクルモード、モリイチスタンプラリー等
 - 2) 一般イベント
予定なし
- (ウ) 受益対象者の範囲及び人数
パンフレット配布 約30000枚

2 びわ湖一周推進事業

(1) びわ湖一周サイクリング認定証の発行

- (ア) 事業内容
自転車によるびわ湖一周を推進するため、「びわ湖一周サイクリング認定証」の発行及び「びわ湖一周サイクリング認定ステッカー」の交付事業を行う。
- (イ) 実施日時
通年
- (ウ) 実施場所
びわ湖一周サイクリング認定証チェックポイント（14箇所）
- (エ) 受益対象者の範囲及び人数
びわ湖一周サイクリング認定証 目標値1300件
・1年に1回、チェックポイントの確認、メンテナンスを実施する。

(2) 協賛ショップの運営

協議会の活動主旨に賛同する店舗を協賛ショップと認定し、各種サービスの提供など、自転車にやさしい滋賀づくりを目指す。また空気ポンプの設置を伴う寄付金付き自販機設置を検討する。

[2] 社会提案：自転車を活かす暮らし方・まちづくりを提案する

1 サイクルツーリズムシンポジウム

(ア) 事業内容

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまなテーマで考えるサイクルツーリズムシンポジウムを開催する。

(イ) 実施日時

1回

2 エコ交通の推進

滋賀県交通戦略課と協力し、一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク内にてエコ交通研究会を運営し、セミナー等を通じてエコ交通の普及を図る。

(ア) 事業内容

滋賀グリーン活動ネットワークのエコ交通研究会にて、セミナー等を通じてエコ交通の普及を図る。

(イ) 実施日時

セミナーの開催、キャンペーンの企画運営、情報提供などを実施する。

3 出版

ピワイチ公式ガイドの改訂（令和4年（2022）春発行予定）に向けて、作業をすすめる。

[3] 調査研究：自転車の使いやすい環境やツール等について研究する

1 もう一つのびわ湖の楽しみ方提案

ピワイチガイドブック制作、およびウェブサイトでの広報の一環として実施。

2 輪学の開催

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまな角度から勉強していくことを目的に、公開での勉強会や講演会を実施する。

(ア) 事業内容

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまな角度から勉強していくことを目的に、公開での勉強会や講演会を実施する。

本年度は、自転車関係者のネットワーク強化を目的に開催する。

(イ) 実施日時

数回程度

3 受託事業の実施

1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会の事務局を担当する。

2) その他、一般社団法人輪の国びわ湖との連携など、必要な事業を行う。

[4] ネットワーク活動：交通に関連する団体や個人と関係を深める

1 滋賀グリーン活動ネットワーク エコ交通研究会との連携

自転車通勤等のエコ通勤やエコ交通システムの普及啓発について研究および実践を行う。

2 自転車新文化を作るネットワーク活動

輪学 2017 のネットワークを中心に、自転車新文化を創るネットワーク活動を関係する団体とともに展開する。

(ア) 事業内容

サイクルツーリズムシンポジウム、ピワイチ 2.0、輪学 2019 に参加した関係団体を中心に、県内の自転車関係者のつながる場を創り、互いの活動の連携を深める。

本年度は、ピワイチ公式ガイド作成と輪学における意見交換を通じて互いの活動を知り合い、連携を深める。

(イ) 実施日時

数回程度

3 その他

先進事例調査、市民参加のマップづくり（道路整備につなげる）、通学用自転車とヘルメットの改善など、方針 1 を進めるために必要な事業に取り組む。

自転車イベント・ツアー等の広報、スタッフの融通、助っ人制度、サイクルガイドのネットワークなど、方針 2 を進めるために必要な事業に取り組む。

4 会議の実施

協議会事業の推進のため、運営委員会として「輪の国びわ湖」ミーティング及びリトリートを実施する。

(ア) 事業内容

輪の国びわ湖推進協議会規約第八条における運営委員会を、「輪の国びわ湖」ミーティング及びリトリートの名称で実施する。

(イ) 実施日時、実施場所

「輪の国びわ湖」ミーティング 月 1 回実施 1 1 回

「輪の国びわ湖」リトリート（日帰りミーティング）※ 年 1 回程度実施

総会 年 1 回実施

※ワークショップ 輪の国びわ湖としての中長期方針や広報戦略、ブランディング、体制づくり等について検討

第4号議案 輪の国びわ湖推進協議会 令和3年度(2021)予算(案)

令和3(2021)年4月1日から令和4(2022)年3月31日まで

収入の部

項目		R3予算額	R2決算額
繰り越し		¥3,043,832	¥1,402,535
事業収入			
びわ湖一周サイクリング認定証	1300	¥1,300,000	¥1,262,572
Webページ広告収入		¥30,000	¥23,715
書籍販売収入(買上)		¥0	¥114,710
書籍印税収入		¥0	¥104,489
出展費(協賛金収入)		¥0	¥0
輪学会費		¥0	¥0
受託事業費		¥0	¥1,200,000
物販		¥0	¥0
寄付金		¥50,000	¥1,773,185
講演・取材対応		¥50,000	¥34,000
ロイヤリティ		¥0	¥849,907
基金			
ガイドブック作成費		¥389,000	¥0
雑収入			
利子		¥100	¥48
雑収入		¥1,000	¥0
合計		¥4,863,932	¥6,765,161

支出の部

項目		R3予算額	R2決算額
事業費			
びわ湖一周サイクリング認定証事務費	1300	¥650,000	¥667,330
びわ湖一周サイクリング認定証材料費		¥100,000	¥238,317
びわ湖一周システム改修費		¥0	¥100,000
広報費(パンフレット等)		¥80,000	¥27,600
広報費(Webサイト)		¥100,000	¥613,864
物販		¥0	¥0
寄付金付き自販機事業		¥5,000	¥0
輪学運営費		¥200,000	¥0
エコ交通の推進		¥200,000	¥187,680
出展費		¥10,000	¥0
安全啓発ポスター		¥100,000	¥0
ガイドブック・Webサイトに向けたコンテンツ作成		¥2,000,000	¥0
受託事業費		¥0	¥856,340
講演取材対応		¥0	¥0
事務費			
会議運営・総会運営		¥120,000	¥120,000
会議会場費用		¥50,000	¥6,000
事務局FAX費		¥12,936	¥15,108
税理士		¥165,000	¥165,000
運営費			
ホームページサーバー費		¥5,238	¥5,238
ホームページドメイン費		¥3,124	¥3,124
ホームページメンテナンス費		¥50,000	¥50,000
諸会費			
びわこビジターズビューロー会費		¥10,000	¥10,000
滋賀グリーン活動ネットワーク会費		¥5,000	¥5,000
基金			
ガイドブック作成費		¥0	¥0
法人税			
法人税		¥120,000	¥626,000
雑費			
振込手数料		¥25,000	¥20,955
その他雑費		¥852,634	¥3,773
合計		¥4,863,932	¥3,721,329

差し引き ¥0 ¥3,043,832



自転車をつなぐ ひと、まち、じかん

- ビジョン
自転車をつくる 地域と未来を豊かにする社会
- ミッション
 1. サイクルツーリズムによる地域づくりの推進
 2. 自転車を日常的に楽しむ文化と環境の創造
- コンセプト・ワード
自転車をつなぐ ひと・まち・じかん

参考資料2

輪の国びわ湖推進協議会 会員名簿

1. 正会員（15）

一丸剛
一般社団法人輪の国びわ湖
伊藤真紀
恩地衛
株式会社ミズホネット
小西良章
市民団体 マイクリング・プロジェクト
新野恭平
田中将人
日本風景街道「琵琶湖さざなみ街道・中山道」パートナーシップ
福富雅之
藤本芳一
南井良彦
南村多津恵
歴史街道推進協議会

2. 一般会員（10）

上田大介
梶川将由
佐々木和之
滋賀県琵琶湖環境部環境政策課
特定非営利活動法人HCCグループ
特定非営利活動法人五環生活
認定特定非営利活動法人環境市民
長谷川悟士
琵琶湖汽船株式会社
琵琶湖博物館 環境学習センター
(五十音順 令和3年(2021)5月17日現在)

参考資料3

輪の国びわ湖推進協議会 役員・運営委員名簿

会長

藤本芳一

副会長

稲永明子（日本風景街道「琵琶湖さざなみ街道・中山道」パートナーシップ／歴史街道推進協議会）
南井良彦

事務局長兼会計

佐々木和之（一般社団法人輪の国びわ湖）

監事

海老島均

福江岬

運営委員

伊藤真紀／一丸剛／恩地衛／川崎一良（マイクリング・プロジェクト）／小西良章
田中将人／新野恭平／福富雅之／南村多津恵／山本一男（株式会社ミズホネット）
横田勝也（マイクリング・プロジェクト）

参考資料4

輪の国びわ湖推進協議会規約

(名 称)

第一条 この会は、輪の国びわ湖推進協議会（以下、協議会という。）と称し、英名は、WANOKUNI Lake Biwa Cycling Promotion Council とする。

(目 的)

第二条 自転車の持つ楽しさや可能性を爆発的にアピールする場として、滋賀が誇る「びわ湖一周サイクリング」をキーとしてムーブメントをつくり、自転車利用者の増加を図ること。また、関係団体との協働のもと、県内外の人々が自転車生活の素晴らしさに気づき、理解し、体験し、生活に取り入れることにより、滋賀が「輪の国」になることを目指す。

(活動内容)

第三条 この協議会では、第二条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「輪の国びわ湖」推進に向けた普及啓発事業
- (2) 「輪の国びわ湖」推進に向けた社会提案事業
- (3) 「輪の国びわ湖」推進に向けた調査研究事業
- (4) 「輪の国びわ湖」推進に向けたネットワーク構築事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

(構成)

第四条 協議会は、正会員及び一般会員で構成する。

- (1) 正会員は、協議会の目的に賛同し、自ら協議会の運営に携わる団体・個人とする。
 - (2) 一般会員は、協議会の目的に賛同する団体・個人及び地方公共団体内の組織（部・課等）とする。
- 2 一般会員は、会議における議決権を有しないものとする。

(入退会)

第五条 正会員または一般会員として入会を希望する者は、協議会の定める入会申込書を協議会事務局に提出する。

- 2 運営委員会において入会申込書を審議し、その承認をもって入会とする。
- 3 正会員または一般会員が会員種別の変更の申し出をしようとするときは、協議会事務局に通知し、運営委員会の承認をもって変更とする。
- 4 正会員または一般会員が退会の申し出をしようとするときは、協議会事務局に通知する。

(役 員)

第六条 協議会活動の円滑な推進のため、以下の役員をおく。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 事務局長兼会計 1名
 - (4) 監事 2名
- 2 役員は協議会の会議において選出する。

(役員の任期)

第七条 役員の任期は二年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員の途中退任における補欠役員の任期は、前任者の残任期とする。

(会議の開催)

第八条 協議会の会議は、総会、運営委員会とする。

2 協議会の会議は必要に応じ、会長が召集する。

(総会)

第九条 総会は年1回開催するほか、必要に応じて臨時に開催する。

2 総会は次の事項を議決する

(1) 事業計画および予算に関すること

(2) 事業報告および決算に関すること

(3) 規約の変更に関すること

(4) その他会長が必要と認めた事項

3 総会は正会員の過半数の出席をもって成立するものとする。

4 総会の議長は、出席の正会員から選出する。

5 総会の議事は、出席の正会員の過半数で決する。

(運営委員会)

第十条 協議会活動の円滑な推進のため、運営委員会を設置する。

2 運営委員会は、会長、副会長、事務局長、運営委員によって構成し、必要に応じて開催する。

3 運営委員は、正会員である個人または団体の構成員から会長が指名するものとする。

(会計)

第十一条 事業・事務経費等の経費は、自主事業収入、その他収入をもって充てる。

2 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。

(所在地)

第十二条 協議会を次の所在地におく。

滋賀県守山市梅田町3番6号 南井産業第1ビル

(事務局)

第十三条 協議会の活動を円滑にするため、次の所在地に事務局をおく。

滋賀県湖南市菩提寺東二丁目6番51号 一般社団法人輪の国びわ湖内

(設立年月日)

第十四条 協議会の設立年月日は平成21年10月2日とする。

(委任)

第十五条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は運営委員会でこれを定める。

附則 この規約は平成 21 年 10 月 2 日から施行する。

附則（平成 22 年 5 月 7 日）

- 1 設立当初の役員任期は、本規約第六条第一項の規定にかかわらず、設立の日から平成 24 年 3 月 31 日までとする。
- 2 この改訂は、平成 22 年 5 月 7 日から施行する。

附則（平成 23 年 5 月 6 日）

- 1 この改訂により選出された監事の役員任期は、本規約第六条第一項規定にかかわらず、平成 24 年 3 月 31 日までとする。
- 2 この改訂は、平成 23 年 5 月 6 日から施行する。

附則（平成 26 年 6 月 6 日） この改訂は、平成 26 年 6 月 6 日から施行する。

附則（平成 26 年 10 月 1 日） この改訂は、平成 26 年 10 月 1 日から施行する。

附則（平成 27 年 11 月 15 日） この改訂は、平成 27 年 11 月 15 日から施行する。

附則（平成 28 年 7 月 20 日） この改訂は、平成 28 年 7 月 20 日から施行する。

附則（令和 3 年 4 月 10 日） この改訂は、令和 3 年 4 月 15 日から施行する。